

## 水蒸気透過性試験

水蒸気透過性試験(透湿度試験、カップ法)とは

・水蒸気透過性試験は、試験雰囲気中の水分が試験片を透過し、カップ内の吸湿剤が吸湿した水分量から透湿度( $\text{g}/\text{cm}^2 \cdot 24\text{h}$ )を算出する試験です。

試験片について

・アルミニウム製のカップに吸湿剤を入れ、シート状の試験片、透過面積を一定にさせるリングの順に重ね、溶融したパラフィンで周囲を密封し、試料とします。試料を恒温恒湿槽内に静置し、一定時間ごとに質量増加を測定します。

規格によって、透湿度以外にも透水係数、透湿抵抗などでの報告も可能です。

試験片の大きさ: 直径 70mm<sup>※</sup>の円盤、厚さ約 3mm まで

試験片の数: 4 (試験片; 3、ブランク; 1)

試験温度: 20°C~80°C

試験湿度: 20~90%RH

※ 直径約 50mm の小形試験片でも対応可能です。

### ● 水蒸気透過性試験に用いる試験カップ



図 1 試験カップ



図 2 パラフィンで試験片を封ろうした状態